



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月10日

上場会社名 内外テック株式会社 上場取引所 J Q  
 コード番号 3374 URL <http://www.naigaitec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 権田 浩一 (TEL) 03 (5433) 1123  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 米澤 秀記 配当支払開始予定日 —  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	4,013	162.0	66	—	56	—	28	—
22年3月期第1四半期	1,531	△62.3	△184	—	△194	—	△140	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	5	87	—	—
22年3月期第1四半期	△28	79	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
23年3月期第1四半期	9,658		1,107		11.5	227	67
22年3月期	8,690		1,085		12.5	223	05

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 1,107百万円 22年3月期 1,085百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	—	—	3	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	0	00	—	—	5	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	8,550	121.1	160	—	130	—	100	—	20	55
通期	14,600	37.8	220	—	150	—	140	—	28	77

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	5,072,000株	22年3月期	5,072,000株
23年3月期1Q	205,597株	22年3月期	205,597株
23年3月期1Q	4,866,403株	22年3月期1Q	4,866,403株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、中国・アジアを中心とした海外経済の回復や緊急経済対策などの影響により、設備投資や輸出が増加するとともに個人消費も堅調に推移し、引き続き回復基調となりました。

当社グループの主な取引先である半導体業界や半導体製造装置業界におきましては、多機能型携帯電話・薄型テレビ・自動車向けのメモリー需要が拡大していることに加え、中国など新興市場でのデジタル家電の急拡大により、半導体メーカーの設備投資が本格化し、これにより半導体製造装置メーカーの受注も大幅に回復しました。

こうした経営環境のもと、当社グループでは、製販一体の総合力の強化により受注獲得の取り組みを行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の連結売上高は、取引先の受注回復の影響により40億13百万円（前年同期比162.0%増）となりました。損益面では、営業利益66百万円（前年同期は営業損失1億84百万円）、経常利益56百万円（前年同期は経常損失1億94百万円）、四半期純利益28百万円（前年同期は四半期純損失1億40百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①販売

半導体・FPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置等のコンポーネンツ及び同装置の販売事業におきましては、半導体メーカーの投資拡大による半導体製造装置メーカーの受注増加により、売上高37億84百万円（前年同期比191.9%増）、営業利益56百万円（前年同期は営業損失1億46百万円）となりました。

#### ②受託製造

半導体・FPD製造装置等の組立及び保守メンテナンス等の受託製造事業におきましては、取引先からの受注の増加等により、売上高5億20百万円（前年同期比70.9%増）、営業利益2百万円（前年同期は営業損失47百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億68百万円増加し、96億58百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が2億61百万円、受取手形及び売掛金が6億35百万円及び商品及び製品が1億51百万円等流動資産が9億74百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ9億45百万円増加し、85億50百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金5億26百万円及び1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の増加額3億54百万円等が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、11億7百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が13百万円及びその他有価証券評価差額金が8百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ12.5%から11.5%となりました。

#### (キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億61百万円増加（前年同期は4億26百万円の増加）し、20億31百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は63百万円（前年同期は1億60百万円の使用）となりました。これは主に、売上債権の増加額6億24百万円及びたな卸資産の増加額1億75百万円等の減少要因があった一方、仕入債務の増加額5億26百万円、税金等調整前四半期純利益30百万円及びその他の増加額1億67百万円（その他の流動資産の減少及びその他の流動負債の増加等）の増加要因によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13百万円（前年同期は53百万円の使用）となりました。これは主としてその他10百万円（保証金の差入）によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は3億39百万円（前年同期は6億40百万円の増加）となりました。これは主として長期借入金の純増額3億54百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取り巻く経営環境につきましては、多機能型携帯電話や薄型テレビ向けの汎用メモリーの需要拡大により、半導体製造装置メーカーの受注は急激に回復しておりますが、パソコンの値下がりによるメモリーの値引要求の高まりや欧州の財政不安を引き金にした世界的な景気減速傾向も予想され、不安定な状況で推移することも懸念されています。

このような環境下、当社グループの業績予想につきましては、当第1四半期累計期間において売上高、各利益とも順調に推移し予想を上回りましたので、本日（平成22年8月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」において第2四半期連結累計期間の業績予想を変更いたしました。

なお、通期の業績予想につきましては、第3四半期以降の事業環境が不透明であることから、連結・個別業績ともに現時点での業績予想の変更は行っておりません。

(第2四半期連結累計期間)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成22年5月14日発表)	7,100	70	35	30	6 16
今回修正予想 (B)	8,550	160	130	100	20 55
増減額 (B-A)	1,450	90	95	70	—
増減率 (%)	20.4	128.6	271.4	233.3	—

なお、上記に加え、第2四半期個別業績予想につきましても変更をお知らせしております。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

#### ② 棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

#### ③ 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ④ 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であります。税金等調整前四半期純利益は6,489千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は10,935千円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,458,995	2,197,324
受取手形及び売掛金	4,101,175	3,466,024
商品及び製品	701,029	549,949
仕掛品	55,756	35,735
原材料及び貯蔵品	43,640	39,342
その他	39,222	136,371
貸倒引当金	△6,541	△5,733
流動資産合計	7,393,277	6,419,014
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,111,124	1,111,124
その他(純額)	※ 386,514	※ 384,330
有形固定資産合計	1,497,638	1,495,454
無形固定資産	16,324	17,169
投資その他の資産		
その他	753,079	770,880
貸倒引当金	△1,723	△12,348
投資その他の資産合計	751,356	758,531
固定資産合計	2,265,319	2,271,156
資産合計	9,658,596	8,690,170
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,639,130	4,112,861
1年内返済予定の長期借入金	1,034,579	945,742
未払法人税等	3,335	9,313
賞与引当金	34,323	50,000
事業再編損失引当金	706	1,064
その他	228,646	151,771
流動負債合計	5,940,721	5,270,753
固定負債		
長期借入金	2,010,005	1,744,117
退職給付引当金	472,721	469,102
長期未払金	96,443	96,443
資産除去債務	10,973	—
その他	19,793	24,296
固定負債合計	2,609,937	2,333,959
負債合計	8,550,658	7,604,713

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,928	389,928
資本剰余金	322,078	322,078
利益剰余金	392,114	378,158
自己株式	△28,254	△28,254
株主資本合計	1,075,865	1,061,910
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32,071	23,546
評価・換算差額等合計	32,071	23,546
純資産合計	1,107,937	1,085,457
負債純資産合計	9,658,596	8,690,170

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,531,538	4,013,382
売上原価	1,417,977	3,612,680
売上総利益	113,561	400,702
販売費及び一般管理費	※ 298,094	※ 334,155
営業利益又は営業損失(△)	△184,532	66,546
営業外収益		
受取利息	592	318
受取配当金	1,656	1,471
受取賃貸料	—	2,400
仕入割引	739	1,724
その他	4,784	1,550
営業外収益合計	7,774	7,465
営業外費用		
支払利息	15,961	16,513
その他	1,342	852
営業外費用合計	17,303	17,366
経常利益又は経常損失(△)	△194,062	56,645
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,139
役員退職慰労未払金戻入益	53,362	—
その他	2,915	—
特別利益合計	56,277	2,139
特別損失		
投資有価証券評価損	—	22,201
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,236
その他	—	24
特別損失合計	—	28,462
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△137,785	30,323
法人税等	2,324	1,768
少数株主損益調整前四半期純利益	—	28,554
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△140,109	28,554



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△137,785	30,323
減価償却費	13,930	11,665
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,495	△9,817
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,782	△15,677
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9,589	3,619
事業再編損失引当金の増減額(△は減少)	△10,102	△286
受取利息及び受取配当金	△2,249	△1,789
支払利息	15,961	16,513
投資有価証券評価損益(△は益)	—	22,201
役員退職慰労未払金戻入益	△53,362	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,236
売上債権の増減額(△は増加)	860,573	△624,338
たな卸資産の増減額(△は増加)	95	△175,397
仕入債務の増減額(△は減少)	△612,550	526,269
その他	△207,571	167,429
小計	△145,927	△43,048
利息及び配当金の受取額	2,269	1,819
利息の支払額	△16,343	△15,746
法人税等の支払額	△412	△7,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	△160,412	△63,995
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,532	△4,520
担保預金の預入による支出	△51,930	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△250	△935
投資有価証券の取得による支出	△925	△637
投資有価証券の売却による収入	174	3,000
その他	3,762	△10,614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,701	△13,708
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△30,000	—
長期借入れによる収入	1,360,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△688,784	△245,275
リース債務の返済による支出	△705	△773
配当金の支払額	—	△14,599
財務活動によるキャッシュ・フロー	640,509	339,351
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	426,393	261,643
現金及び現金同等物の期首残高	1,681,078	1,770,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,107,471	※ 2,031,694

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	販売事業 (千円)	受託製造事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,295,353	236,185	1,531,538	—	1,531,538
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,122	68,407	69,529	(69,529)	—
計	1,296,475	304,592	1,601,068	(69,529)	1,531,538
営業利益又は営業損失(△)	△146,019	△47,639	△193,659	9,126	△184,532

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社(内外テック株式会社)及び連結子会社1社(内外エレクトロニクス株式会社)により構成され、半導体メーカー、半導体製造装置メーカー、FPD製造装置メーカー、太陽電池製造装置メーカー及び電子機器メーカーを主要顧客として、販売、製造別のセグメントから構成されており、「販売」事業及び「受託製造」事業の2つを報告セグメントとしております。

「販売」事業は、半導体製造装置、FPD製造装置等の使用される各種コンポーネンツ(部品)及び同装置を国内メーカーから仕入れ、主に国内ユーザーに販売しております。「受託製造」事業は、半導体関連及びFPD製造装置メーカー等に対し、装置組立・受託加工・工程管理・情報機器組立・保守メンテナンス等の受託製造事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
 当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売	受託製造	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,779,393	233,988	4,013,382	—	4,013,382
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,115	286,561	291,677	△291,677	—
計	3,784,509	520,550	4,305,059	△291,677	4,013,382
セグメント利益	56,533	2,226	58,760	7,786	66,546

(注) 1. セグメント利益の調整額7,786千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
 該当事項はありません。